

平成21年11月10日発行稲作だより（毎月1回10日） 通巻第348号 昭和58年6月21日第3種郵便物認可

稲作だより

2009

11月号



 **JA全農ちば 米穀部**



CONTENTS

もくじ

- ◇米穀情勢について…………… P. 1～4
 - (1) 21年産米の作柄・検査状況について
 - (2) 販売状況について
 - (3) 消費動向について
 - (4) 農業者戸別所得補償制度の検討状況について
 - (5) 22年産米の都道府県需要量情報
- ◇森田千葉県知事ラジオで「ふさこがね」をPR！…………… P. 5
- ◇営農情報「水稻新農薬情報について」…………… P. 6～7
- ◇「大型特殊免許」をお持ちですか？…………… P. 8
- ◇肥料情報「水稻用低コスト肥料のご紹介」…………… P. 9



米 穀 情 勢

1. 21年産米の作柄・検査状況について

(1) 21年産水稻の作柄概況

農水省の「21年産水稻の作付面積及び予想収量（10月15日現在）」によると全国の作況指数は98、10a当たり収量は522kg、主食用収穫量は831万1千トンと公表されました。また、主食用作付面積は159万2千haとなり、計画生産目標数量に対して50千haが過剰作付けとなり、計画生産数量では161千トンが過剰生産となりました。

千葉県の場合は作況指数は99、10a当たり収量は527kg、主食用収穫量は32万4,600トンと公表されました。

また、主食用作付面積は6万1,600haとなり前年産に比べ200ha減少しましたが、計画生産目標面積に対して12千haが過剰作付け、計画生産数量では63千トンが過剰生産となりました。

(2) 21年産米の検査状況（10月末現在、農林水産省公表速報値）

ア. 全国の検査状況

水稻うるち玄米の検査数量は、3,486千トンとなり前年同期対比94%となっています。また、等級比率は1等86.4%となり前年を5.4ポイント上回りました。2等以下の主な格付要因は、整粒不足や充実度となっています。

イ. 千葉県の検査状況

水稻うるち玄米の検査数量は159,434トンとなり前年同期対比94%の状況にあります。等級比率は1等92.9%となり、前年を0.3ポイント下回っています。

水稻もち玄米は5,829トンとなり前年同期対比156%となっています。

銘柄別に見ると作付が増加した「ふさこがね」以外は全て前年数量を下回っています。特に、「ふさおとめ」は前年から14ポイント下回っています。

●過去四年間の千葉県の検査状況（10月末現在）

年産	生産量 (子実用)	作況 指数	検査数量				
			総計	水稻うるち玄米	水稻もち玄米	醸造用玄米	陸稻もち玄米
21年産	326,700	99	165,397	159,434	5,829	131	3
20年産	347,100	105	173,753	169,870	3,740	143	—
19年産	328,300	98	162,553	159,305	3,105	141	3
18年産	318,500	96	151,507	146,221	5,133	149	5

2. 販売状況について

(1) 20年産主食うるち米の販売状況（21年10月末現在）

販売計画289万トンの契約は終了したものの、このうち8万トンが11月以降の受渡しとなる先渡し契約となり21年産米の販売に影響を与えています。

また、米穀卸売業者の在庫は前年同期に対して235千トン、前々年同期に対して165千トン多くなり20年産米の優先消化をすすめています。

(2) 21年産米契約・販売状況（21年10月末現在）

ア. 全国の契約・販売状況

10月末現在の契約実績は前年比58%、販売実績は前年比61%と前年を大きく下回っています。主な要因は、①前年の端境期が20年産米の早食い需要が旺盛であったこと。②米穀卸が20年産米在庫を優先消化させていること。③商系業者等の販売価格が全農販売価格を大きく下回って出回っていること。④政府買入数量が備蓄調整保管ルールの範囲となり需給は過剰と見込まれていることなどによります。

こうした状況から、米穀卸の契約申込は当用分の仕入に徹し、特に流通量の多いコシヒカリについては非常に慎重な対応となっています。

イ. 販売価格の動向

21年産米の販売価格は、新潟等のコシヒカリを除き20年産水準でスタートしました。しかしながら商系業者等の販売価格が全農販売価格を大きく下回り出回っていることから複数産地で価格修正をはかっています。しかしながら、契約・販売数量の大幅な回復まで至っていません。

今後、景気低迷下での低価格志向の強まりに加え、小麦製品の値下がり等による消費量の減少等により流通価格の更なる引き下げが懸念されます。

3. 消費動向について

(1) 家計調査

総務省「家計調査」によると「米の1世帯1か月あたり購入数量」は、直近の9月は前年同月比3%減と前年を下回りました。

一方、小麦価格の引下げにより量販店ではパンの販売が増加する傾向が出てきており、今後の小麦製品の消費動向に注視する必要があります。

(2) 小売、外食等の状況

9月の全国消費者物価指数は前年同月比2.2%低下し8か月連続して前年を下回り、景気回復の好材料がないことから低価格志向がより一層強まるものと見込まれます。

こうした状況のなか、コンビニエンスストアでの弁当やおにぎりなどの日配食品の売

上高は前年同月比95.7%と8か月連続で前年を下回っております。特に量販店との弁当類の価格競争が激化していることが大きく影響しています。

また、外食産業の売上高は、景気悪化の影響から全体で前年同月比98.5%と4か月連続で前年を下回り、ファミリーレストラン系も同94.6%と10か月連続で前年を下回っています。

4. 農業者戸別所得補償制度の検討状況について

農林水産省は11月9日第2回戸別所得補償制度推進本部を開催し、22年度に実施する米の戸別所得補償モデル事業（総額5,618億円）の運営方法をまとめました。

対象者は水稲共済の加入者で、交付金は農政局から生産者の口座に直接支払う仕組みを基本としており、詳細は政府・与党間で調整し11月末までに決定するとしています。

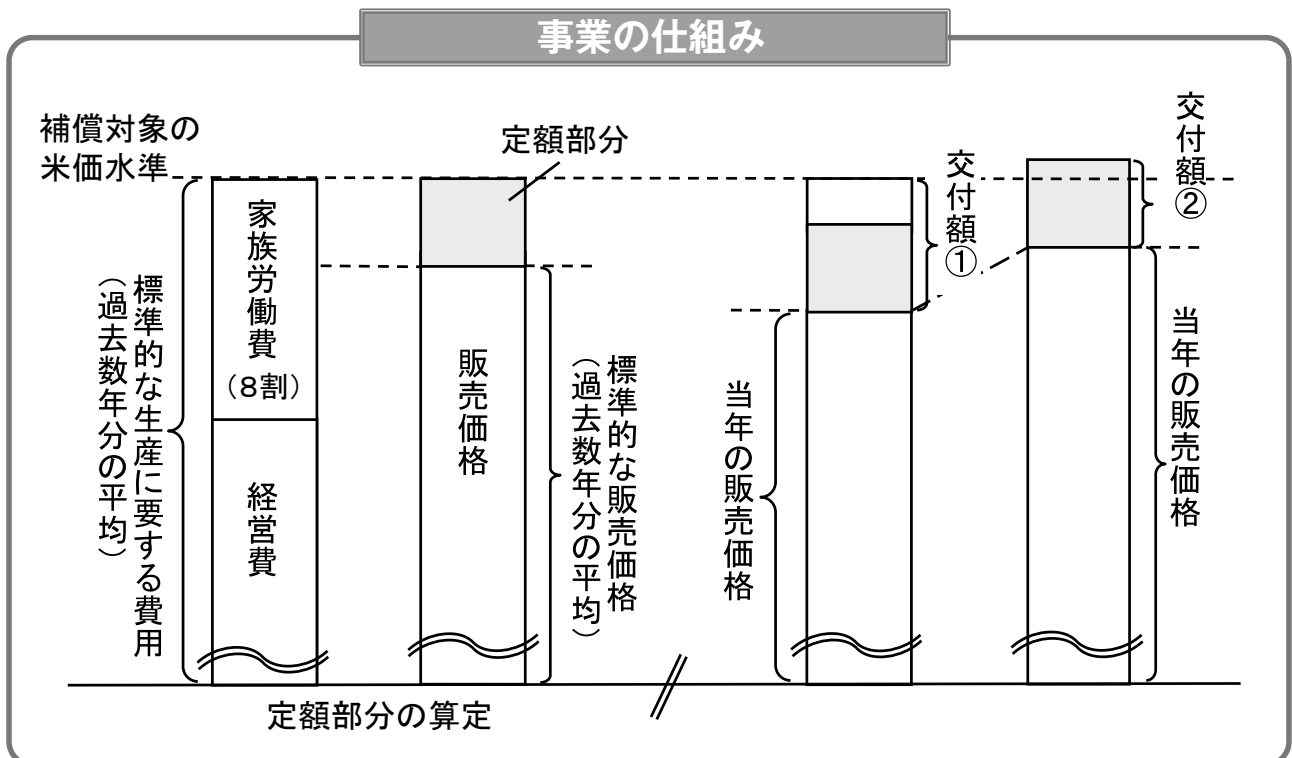
加工用米や新規需要米などは転作作物に助成する水田利活用自給力向上事業の交付対象とし米の戸別所得補償モデル事業の対象面積から外すこととなります。

米のモデル事業

(米戸別所得補償モデル事業)

○米の「生産数量目標」に即した生産を行った販売農家（集落営農を含む）に対して所得補償を直接支払により実施する。

- ① 標準的な生産に要する費用（過去数年分の平均）と販売価格（当年）との差額を全国一律単価として交付
- ② ①の交付金のうち、標準的な生産に要する費用（過去数年分の平均）と標準的な販売価格（過去数年分の平均）との差額は定額部分として価格水準にかかわらず交付

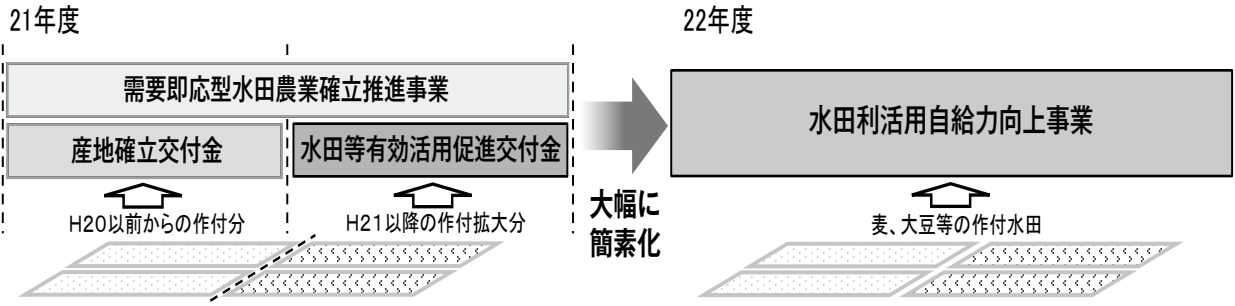


自給率向上事業

(水田利活用自給力向上事業)

○水田を有効活用して麦、大豆、米粉・飼料用米等の生産を行う販売農家に対し、主食用米並みの所得を確保し得る水準を直接支払により交付

助成金体系の見直し(イメージ)



事業の仕組み

①助成単価

水田での作付面積に応じ、**全国統一単価**（その他作物を除く）で助成を実施

作物	単価(10a当たり)
麦、大豆、飼料作物	35,000円
新規需要米 (米粉用・飼料用・バイオ燃料用米、WCS用稲)	80,000円
そば、なたね、加工用米	20,000円
その他作物 (地域で単価設定可能)	10,000円

※この他、二毛作助成(戦略作物)15,000円/10aを実施

②助成要件

捨て作りを防止し、需要に応じた生産を促進するため、実需者との出荷契約等を確認

今回の対策の6つのポイント

- ①作付規模、年齢を問わず、すべての販売農家が対象。
- ②米の生産数量目標の達成に関わらず、対象作物の作付面積に応じて交付。
- ③作付拡大に対応できるように、作付面積の実績に応じて、全国統一単価で助成(その他作物を除く)。
- ④その他作物に対する助成は、単価(10,000円/10a)に基づく支援枠を設け、地域の実情に応じて柔軟に助成対象作物・単価を設定。
- ⑤水田の自給力の向上のため、新たに二毛作助成(戦略作物15,000円/10a)を実施。
- ⑥麦、大豆については水田経営所得安定対策に基づく生産条件不利補正交付金(ゲタ交付金)を引き続き交付(21年度の全国平均で小麦約40,000円、大豆約27,000円)

5. 22年産米の都道府県需要量情報

出来秋の作柄概況等をふまえ、例年は11月下旬に開催される食料・農業・農村政策審議会食糧部会において「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」の変更と22年産米の都道府県需要量情報が決定されますが、今年度は12月中旬に公表される見込みです。

森田千葉県知事 ラジオで 「ふさこがね」をPR!

千葉県米消費拡大推進協議会は、さる11月2日ニッポン放送において、「いちにち丸ごと千葉の新米感謝デー」を開催し、新米ふさこがねのおにぎりや落花生などをニッポン放送社員や番組パーソナリティーに試食提供し、テリー伊藤をはじめとするパーソナリティーは自分の番組でその美味しさを紹介しました。

この「新米感謝デー」は、ふさおとめが市販デビューした平成10年から実施しており、今年で11年目を迎えます。当日、森田健作千葉県知事、林千葉県本部運営委員会会長や海保県本部長は、ニッポン放送社内に設けた特設コーナーにおいて、社員の皆さんや番組スタッフにおにぎりなどをふるまいました。

試食した番組パーソナリティーらは美味しそうに新米おにぎり等をほおばり、各番組で千葉県産農林水産物の美味しさを紹介しました。

また、森田知事は番組にもゲスト出演し、聴取者に向けてふさこがねをはじめとした県産農林水産物をPRするとともに、「首都圏にありながら農産物生産が盛んで自然あふれる千葉県」への来訪を呼びかけました。



秋期の稲わら鋤き込み・耕耘が一段落し、来年の稲作に向けて計画・準備をされる時期となりました。来作に向けて①今年使用されて、来年の普及拡大が見込まれる除草剤の特徴 ②今秋に設定された除草剤の使用基準の内容を紹介します。

① 新除草剤の特徴

(1) バッチリフロアブル・1キロ粒剤・ジャンボ（初・中期一発処理剤）

- 有効成分 ●ピラクロニル（新規） ●イマゾスルフロン ●プロモブチド
- 使用時期 ●移植直後～ノビエ2.5葉期まで ただし、移植後30日まで
 - 移植時 田植同時散布機で施用（ジャンボを除く）
- 特 徴 ●ピラクロニルは新規スルホニルウレア（SU）系剤、1成分でヒエの他広葉、カヤツリグサ科など多草種に効果がある。特にコナギ、オモダカに長期残効があるが、ヒエにはやや残効が短い。
 - 3有効成分によりヒエを始め1年生、多年生雑草に高い除草効果がある。
 - 田植え同時処理ができる（②参照）。
- ポイント ●田植え同時散布の場合：雑草の発生が多い圃場（特に難防除雑草）では中期剤、後期剤の散布が必要となることがあります。
 - 難防除雑草が対象の場合：代かき又は田植え時の初期剤との体系処理で、発生がダラダラと長期間になるオモダカ、クログワイ、コウキヤガラなどに安定した高い効果が得られます。

(2) サンパンチ1キロ粒剤（中期剤）

- 有効成分 ●シハロホップブチル ●ジメタメトリン ●ハロスルフロンメチル
 - ベンゾビシクロン
- 使用時期 ●移植後15日～ノビエ3.5葉期 ただし、収穫60日前まで
- 特 徴 ●既存の一発剤および後期剤の有効成分からの4成分の中期剤であるが、移植後15日から収穫60日前（9月1日収穫の場合6月末）と中期、後期剤的な長期間の散布期間がある。
 - ヒエに対しては後期剤「クリンチャー」と同等である。
 - 多年生雑草に対しては既存の一発剤、中期剤より高く、後期剤「バサグラン」より劣るが、湛水散布のため梅雨時期の散布では安定した効果が得やすい。
- ポイント ●オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ等に対して、一発剤散布後の取残し時対策及び一発剤の田植え同時処理との体系処理で高い効果があります。
 - ホタルイは10cm程度でも生育が進んでおり、散布遅れになることがあるので注意します。

(3) ワイドアタックSC（水和剤）（中・後期剤）

- 有効成分 ●ペノキススラム（新規）
- 使用時期 ●移植後25日～ノビエ5葉期まで（イネ6葉期以降） ただし、収穫30日前まで

- 特徴 ● 1成分でヒエから多年生雑草に効果があり、低薬量のため環境負荷が少ない。
- 多年生雑草に対して「バサグラン」より劣るが、降雨には安定している。
- ポイント ● 効果発現は遅効的です。生育抑制後枯死までに3週間程度かかります。
- 散布後の雑草発生を2週間近く防止するので、早めの散布が効果的です。

② 田植同時処理ができる農薬の適用内容表示が明確化

本県において初期・初中期一発剤は水稲作付け面積の9割以上で使用されており、省力化を図っている大規模生産者などでは「田植同時散布機」による「田植同時処理」が行なわれています。

これまでの「田植同時処理」の場合は、使用基準に「移植直後」の適用があれば「田植直後処理」と同様と見なして使用できるとされてきました。しかし、厳密には同時処理と直後処理では異なることから、この度「移植直後⇒湛水散布」に加えて「移植時⇒田植え同時散布機で施用」での使用基準が設定され、田植同時処理できる農薬（除草剤）の適用内容表示が明確化されました。

これにより田植同時処理では、田植同時散布機による使用方法が適用内容表に表記されることになり、使用時期は「移植時」・使用方法是「田植同時散布機で施用」と明記されます。水稲除草剤を田植同時散布機で処理をする場合は、「移植時で田植同時散布機で施用」の登録のある農薬に限られます。従って今後は、移植時の適用拡大を行っていない薬剤は、田植同時処理ができなくなります。

9月15日付けで「トップガンLフロアブル・バッチリ1kg粒剤・ホームランキングLフロアブル」などの除草剤が「移植時」の登録適用拡大を取得し、来春での田植同時散布が行なえるようになっています。旧ラベルの製品をお持ちの場合は、変更ラベルを入手するか、最寄の農林振興センターやJAおよび農薬会社HPより最新の登録内容を確認してから使用してください。

※水稲除草剤 適用内容の例（太字部分が適用拡大です）

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 及びマツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ セリ アオミドロ・藻類 による表層剥離	移植時	砂壤土 ＼ 埴土	1kg/10a	1回	田植同時散布機で施用	全域の普通期 及び 早期栽培地帯
		移植直後 ＼ ノビエ2.5葉期 但し移植後 30日まで				湛水散布	

【除草剤の田植同時処理への適用拡大】

本田の除草剤散布に当たっては、田植と農薬散布の同時処理が普及しています。この場合の使用時期は、本来「移植時」となりますが、これまでの農薬の使用時期には「移植時」という登録がないため、「移植直後」の農薬を田植同時処理にも使用可能としていました（「移植時」は「移植直後」の概念に含まれると整理）。

しかし、「移植時」と「移植直後」とでは、薬剤の稲に対する接触程度が異なるため、田植同時処理における登録上の使用時期は、「移植時」のみとなりました。従って、22年産の植付けを行なう水稲からは、使用時期が「移植直後」の適用しかない農薬は、田植同時処理には使用できなくなります。

※水稲除草剤を田植同時処理する場合は、「移植時」登録のある農薬を使用して下さい！

『大型特殊免許』を お持ちですか？

機械の大型化・高性能化により大型特殊免許が
必要な農耕車が増えています。
あなたの「農耕車の規格」の確認をお願いします。

〔大型特殊免許が必要な農業機械の規格〕 (道路交通法施行規則)

下記の規格を1つでも超える車輛を道路で運転するときは、大型特殊免許が必要となります。

規格条件	長さ	幅	高さ	最高速度
小型特殊自動車 (農耕用)	4.7 m以下	1.7 m以下	2.0 m以下	15 km/h以下

※ヘッドガード等を含む場合の高さは2.8 m以下。

無免許運転は違反点数 19点

運転免許は 取消

欠格期間は 1年 (新たに運転免許を取る
ことのできない期間)

ただいま
大型特殊免許取得
キャンペーン展開中!



詳しくはお近くのJAへご相談ください。

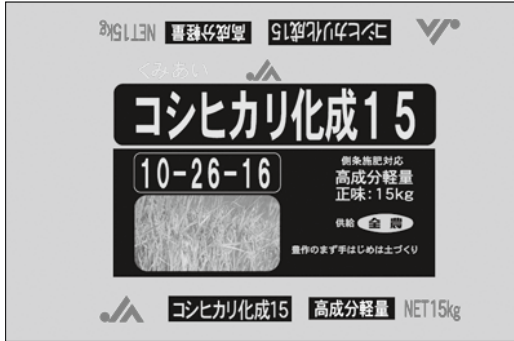
低コスト・省力化に向けて！

水稲用低コスト肥料のご紹介

●15kg袋肥料（15kg袋シリーズ） 製造：サンアグロ(株)

①コシヒカリ化成15（10-26-16）

コシヒカリ化成の代表銘柄です



②ネオパールX15（7-28-14）

品質向上を考慮した重焼燐入りです



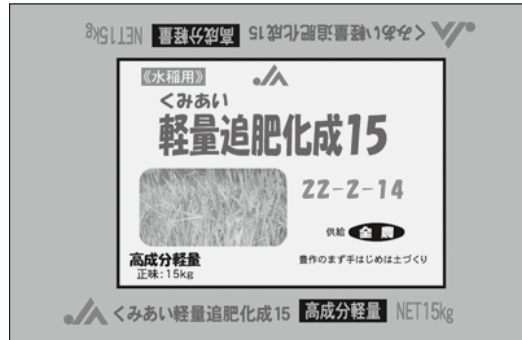
③コシヒカリ一発15（20-16-14）

追肥のいらない基肥一発肥料です



④軽量追肥化成15（22-2-14）

全ての品種対応の軽量追肥化成です



●20kg袋肥料（ファイトシリーズ） 製造：セントラル合同肥料(株)

①ファイト水稲用882（8-18-12）

コシヒカリ用基肥です



②ファイト一発コシヒカリ（15-12-10）

追肥のいらない基肥一発肥料です



お問合せ先：サンアグロ(株) 03-3510-7213

セントラル合同肥料(株) 03-3259-2422

○ 国民1人・1年当たり供給純食料及び国内生産量の前年度比較

類別・品目別	1人・1年当たり供給純食料(kg)				国内生産量(千トン)			
	19年度	20年度	増減量	増減率	19年度	20年度	増減量	増減率
穀類	95.0	91.5	▲ 3.5	▲ 3.7%	9,851	9,948	97	1.0%
米	61.4	59.0	▲ 2.4	▲ 3.8%	8,714	8,823	109	1.3%
小麦	32.3	31.1	▲ 1.2	▲ 3.6%	910	881	▲ 29	▲ 3.2%
いも類	20.3	19.6	▲ 0.7	▲ 3.6%	3,841	3,751	▲ 90	▲ 2.3%
かんしょ	4.4	4.3	▲ 0.1	▲ 1.4%	968	1,011	43	4.4%
ばれいしょ	15.9	15.3	▲ 0.6	▲ 4.2%	2,873	2,740	▲ 133	▲ 4.6%
でんぷん	17.5	16.9	▲ 0.6	▲ 3.5%	2,802	2,641	▲ 161	▲ 5.7%
豆類	9.2	8.9	▲ 0.3	▲ 3.2%	335	376	41	12.2%
大豆	6.8	6.7	▲ 0.1	▲ 0.5%	227	262	35	15.4%
野菜	94.5	94.2	▲ 0.3	▲ 0.3%	12,527	12,654	127	1.0%
果実	41.2	40.1	▲ 1.1	▲ 2.5%	3,444	3,411	▲ 33	▲ 1.0%
みかん	5.4	4.7	▲ 0.7	▲ 12.4%	1,066	906	▲ 160	▲ 15.0%
りんご	10.3	10.2	▲ 0.1	▲ 0.9%	840	911	71	8.5%
肉類	28.2	28.5	0.3	0.8%	3,131	3,172	41	1.3%
牛肉	5.7	5.7	0.0	0.1%	513	518	5	1.0%
豚肉	11.6	11.7	0.1	1.5%	1,246	1,260	14	1.1%
鶏肉	10.7	10.8	0.1	0.6%	1,362	1,383	21	1.5%
鶏卵	17.1	16.8	▲ 0.3	▲ 1.5%	2,587	2,547	▲ 40	▲ 1.5%
牛乳・乳製品	93.3	86.3	▲ 7.0	▲ 7.5%	8,024	7,945	▲ 79	▲ 1.0%
魚介類	32.0	31.5	▲ 0.5	▲ 1.5%	5,102	5,028	▲ 74	▲ 1.5%
海藻類	1.1	1.0	▲ 0.1	▲ 11.0%	124	112	▲ 12	▲ 9.7%
砂糖類	19.8	19.2	▲ 0.6	▲ 2.9%	2,182	2,158	▲ 24	▲ 1.1%
油脂類	14.4	13.9	▲ 0.5	▲ 3.8%	2,049	2,028	▲ 21	▲ 1.0%
植物油脂	13.4	13.0	▲ 0.4	▲ 2.9%	1,730	1,704	▲ 26	▲ 1.5%
動物油脂	1.0	0.8	▲ 0.2	▲ 15.6%	319	324	5	1.6%
みそ	3.8	3.6	▲ 0.2	▲ 4.5%	484	459	▲ 25	▲ 5.2%
しょうゆ	7.2	6.7	▲ 0.5	▲ 7.2%	947	876	▲ 71	▲ 7.5%
その他食料	4.8	4.4	▲ 0.4	▲ 8.3%	2,733	2,589	▲ 144	▲ 5.3%
きのこ類	3.4	3.3	▲ 0.1	▲ 2.2%	442	447	5	1.1%

(注) 1. 米の在庫取崩し分を含んだ国産米供給量は、19年度8,727千トン（うち在庫取崩し量13千トン）、20年度8,457千トン（同▲366千トン）
 2. 「砂糖類」の国内生産量は、「精糖」及び「含みつ糖」の合計。

お知らせ

全農千葉県本部では、この稲作だよりが生産者の皆さんの情報交換となれば、と考えております。身近な話題、ご意見、ご要望などありましたら、下記連絡先までお寄せ下さい。

〒260-0031 千葉市中央区新千葉3-2-6 全農千葉県本部
 米穀部 米穀グループ「稲作だより」係
 TEL.043-245-7374 FAX.043-244-7241

稲作だよりに係る個人情報の取り扱いについて

組合員のみなさまからご提供いただきました個人情報は、稲作だより送付の目的にのみ使用いたします。



千葉の花米は千葉県でとれるお米の愛称です。